

新型コロナ対策

加古川市議団が



各地の児童クラブを訪問

日本共産党加古川市議会議員団は、新型コロナ感染対策で各学校が3月2日より休校となった市内の小学校の児童クラブへ訪問しました。市内の児童クラブ会員2,700人の内、約1,000人の子どもたちが毎日通っています。子どもたちは朝7時45分から夜7時まで指導員の下で本を読んだり、運動

場で体を動かして過ごしています。

感染予防のためのマスクや消毒液など必要数の確保状況や、市への要望などを聞き取りました。そして市長、教育長に改善のための申し入れを行いました。

裏面に続く

新年度予算決まる

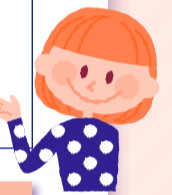
一般会計924億2千万円全年度比102%増、特別会計、企業会計合わせて総額で1,705億9,468万4千円全体で昨年度比5.7%の増額です。中学校給食の前進、デマンドタクシーの実証実験、子どもの医療費無料等、市民の願い実現に進んでいます。新年度は市政70周年記念事業やオリンピック・パラリンピックの経費や学校給食センターの建設費、そして児童生徒へのICT

機器の費用が増額となっています。

行政改革で職員数を1,700人を切るところまで削減を行った影響が、委託事業の増加として表れています。委託や民間業者によるDBOやPFIそして指定管理者委託等、から直営方式への事業の切り替えを行い、経済が市内で循環する施策を求めました。

令和元年度補正予算 新型コロナウイルス感染症 対策費用給付

議会最終日に新型コロナへの対策のための費用が2019年度予算として追加補正があり、新たに総額9千598万7千円が追加されました。この費用は保育園・幼稚園・放課後児童クラブへの備品として空気清浄機の購入費用や需用費に充てられることが明らかになりました。市の基金約200億円を活用して今回の新型コロナウイルスへの対応として補正を組み、市民生活支援のために緊急対策への活用を求めました。



子どもの医療費を無料 中学まで所得制限なし

0歳から中学校3年生卒業まで医療費無料を求める運動が全国で広まり、本市も所得制限がある形で実施していましたが、今年7月から「所得要件を撤廃」となります。

引き続き、高校卒業まで医療費無料をもとめてまいります。

幼稚園の エアコン設置

市内の幼稚園16園にエアコン設置が決まりました。工事は今年7月8月の夏休み中に行われ9月から実施することが明らかになりました。尚、浜の宮幼稚園は大規模改修工事とあわせて行いますが、園児たちにはエアコンの部屋で対応できるとしています。

両荘校区 小中一貫型統合

1月の両荘地区の教育環境に関するアンケート調査は小中一貫校を前提とする設定での問い掛けであったことの問題点を質しました。

平荘小学校、上荘小学校、両荘中学校に係る今後の運営については、統合ありきを進めるのではなく、地元のみなさんとの協議を重ねることを求めました。

デマンドタクシー 実証実験開始

公共交通の充実については3大公約に掲げて訴えてきましたが、空白地域や困難地域対策の一環として八幡町でデマンドタクシーの実証実験が行われます。ミニバンで駅や病院までなど計画されています。医療難民買い物難民に朗報です。市議団としては予約すれば家の前まで来てくれるよう求めています。



※イメージ写真

学校給食の 給食代の会計(徴収)について

今年9月から日岡山学校給食センターから6中学校への給食が開始されます。来年9月には(仮称)神野台学校給食センターから残り4中学校へ運用される予定です。給食費は私会計として徴収されておりましたが、公会計に切り替えとなります。給食費については「食育」という教育の一つとして、教育は無償の立場で「給食費無償」を求めています。

難病患者の医療費助成制度の改善を求める意見書

平成26年5月「難病の患者に対する医療等に関する法律」ができ「難病に係る新たな医療制度が施行されました。その一方で「軽症」の患者が医療助成の対象外になっています。

今後の課題として軽症と判断されても継続的医療提供が必要な患者への対処と施策の拡充をもとめ市議会から意見書を提出しました。

日本共産党
加古川市議会議員団

市議会報告
2020年 春季号

岸本たてき 高木えり 立花しゅんじ

発行 日本共産党加古川市議会議員団 加古川市加古川町北在家2000 TEL 079-427-9303